

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 7 日(2023.9.7)

【公開番号】特開 2022-83649(P2022-83649A)
【公開日】令和 4 年 6 月 6 日(2022.6.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-100
【出願番号】特願 2020-195083(P2020-195083)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04(2006.01)

10

G 0 6 T 1/00(2006.01)

G 0 3 B 27/54(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 1

G 0 6 T 1/00 4 2 0 F

G 0 3 B 27/54 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 30 日(2023.8.30)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体を撮像する撮像センサと、

媒体を照射し、且つ、媒体の搬送面又は載置面に対して傾いた状態で配置された光源部と、を有し、

前記光源部は、

30

発光素子と、

前記発光素子が一方の端面側に配置され、前記発光素子から出射された光を所定方向に導光し、且つ、前記所定方向に延伸した出射面から光を媒体に向けて出射する導光部材と、

前記出射面以外の前記導光部材の周囲に配置された反射部材と、を有し、

前記導光部材は、前記出射面と反対側に光拡散面を有し、

前記反射部材は、前記導光部材の前記一方の端面とは反対側の他方の端面を被覆せず、

前記反射部材の媒体側側面は、前記導光部材の前記他方の端面より突出するように配置されており、

前記導光部材の前記他方の端面は、前記反射部材の媒体側側面と反対側の側面より突出するように配置されている、

40

ことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記光拡散面は、前記導光部材の前記他方の端面まで延伸するように設けられている、請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

媒体を搬送する搬送部と、

媒体を撮像する撮像センサと、

媒体を照射し、且つ、媒体の搬送面に対して傾いた状態で配置された光源部と、を有し、

50

前記光源部は、

発光素子と、

前記発光素子が一方の端面側に配置され、前記発光素子から出射された光を所定方向に導光し、且つ、前記所定方向に延伸した出射面から光を媒体に向けて出射する導光部材と、

前記出射面以外の前記導光部材の周囲に配置された反射部材と、を有し、

前記導光部材は、前記出射面と反対側に光拡散面を有し、

前記反射部材は、前記導光部材の前記一方の端面とは反対側の他方の端面を被覆せず、

前記反射部材の媒体側側面は、前記導光部材の前記他方の端面より突出するように配置されており、

前記導光部材の前記他方の端面は、前記反射部材の媒体側側面と反対側の側面より突出するように配置されている、

ことを特徴とする画像読取装置。

【請求項 4】

撮像部と、

前記撮像部を移動させるモータと、を有し、

前記撮像部は、

媒体を撮像する撮像センサと、

媒体を照射し、且つ、媒体の載置面に対して傾いた状態で配置された光源部と、を有し、

前記光源部は、

発光素子と、

前記発光素子が一方の端面側に配置され、前記発光素子から出射された光を所定方向に導光し、且つ、前記所定方向に延伸した出射面から光を媒体に向けて出射する導光部材と、

前記出射面以外の前記導光部材の周囲に配置された反射部材と、を有し、

前記導光部材は、前記出射面と反対側に光拡散面を有し、

前記反射部材は、前記導光部材の前記一方の端面とは反対側の他方の端面を被覆せず、

前記反射部材の媒体側側面は、前記導光部材の前記他方の端面より突出するように配置されており、

前記導光部材の前記他方の端面は、前記反射部材の媒体側側面と反対側の側面より突出するように配置されている、

ことを特徴とする画像読取装置。

10

20

30

40

50